

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	14-306	慶應義塾大学
題名(原題/訳)		
GPs' role security and therapeutic commitment in managing alcohol problems: a randomised controlled trial of a tailored improvement programme. アルコール問題を管理上での GP(一般開業医)の役割の割り当てと治療的な関与: 個別に手直しされた改善プログラムの無作為対照臨床試験		
執筆者		
Keurhorst M, van Beurden I, Anderson P, Heinen M, Akkermans R, Wensing M, Laurant M.		
掲載誌		
BMC Fam Pract. 2014 Apr 17;15:70. doi: 10.1186/1471-2296-15-70.		
キーワード	PMID	
アルコール関連問題、一般開業医 (GP)、	24742032	
要旨		
<p>背景: より役割の割り当てをもち治療に関与する一般開業医が危険または有害なアルコール消費を有する患者への治療の参加は、他の職種に比べてより関与しよりアルコール関連の問題を管理する。本研究において、我々は一般医の役割割り当てと治療的な関与の上で手直しされた多面的な改善実施プログラムの効果と、更にどの職種に関連した因子が実施プログラムの効果に影響するかを評価した。</p> <p>方法: 集団無作為対照臨床試験では、オランダの 82 の一般診療所に勤務する 124 人の一般医は、介入または対照群にランダム化された。手直しされた多面的なプログラムは医師、組織、患者の参加を含み、アルコールに特有の実施戦略に一般医の役割割り当てと治療的な関与を増加させることを目指した。対照群は国家ガイドラインをメールされ、患者はフィードバック・レターを受け取った。アンケートはプログラムの開始前と開始 12 ヶ月後に行われた。我々は、実施プログラムの効果を評価するために、線形多平面回帰分析を行った。</p> <p>結果: 参加している一般医は主に男性であり(63%)、本研究のスタートの前(0.4 時間)に、アルコール関連の非常に低いレベルの教育を受けた。プログラムは治療的な関与を増加させた ($p = 0.005$;95%CI 0.13 - 0.73)、しかし、役割割り当てではない($p = 0.58$;95%CI-0.31 - 0.54)。一般医がそれが問題飲酒のケアを改善することをどれだけ重要とするか、そして、一般医が試験開始時にアルコール消費を質問する患者の比率、両方がプログラムの治療的な関与への影響を増加させた。</p> <p>結論: 危険および有害な飲酒をする患者に対する GP の管理を改善することを目的に手直しされた、多面的なプログラムは、アルコール関連の問題を有する患者の方への一般医の治療的な関与を改善したが、一般医の役割割り当てを改善するのに失敗した。一般医がそれが問題飲酒のケアを改善することをどれだけ重要とするか、そして、一般医が試験開始時にアルコール消費を質問する患者の比率、両方がプログラムの治療的な関与への影響を増加させた。</p> <p>実施プログラムの後年の全体を通じて役割セキュリティと治療的な関与の手続きをモニターすること、そして、プログラムが短期に効果的であるが、より長い用語で次第に消えて行ったかどうか確認することは価値があるかもしれない。</p>		